

地震発生後における下水道機能の早期復旧手法検討
 - 下水道 BCP 策定マニュアル改訂に向けて -

調査研究年度：2016 年度

地震・津波対策

政策支援調査研究

【調査・研究目的と成果】

地震発生後における下水道機能の早期復旧に向けて、熊本地震の経験と教訓を下水道 BCP に反映させていくことや、訓練等を行うなどして下水道 BCP の実効性を向上させることが重要である。

本研究では、熊本地震の初動対応時に見受けられた課題の収集及び整理を行うことにより、「下水道 BCP 策定マニュアル（地震・津波編）-第2版-」の改訂の方向性を提案するとともに、マニュアル改訂に向けた基礎資料として、訓練手法に関する事例の収集や受援体制に関するヒアリング等を行った。

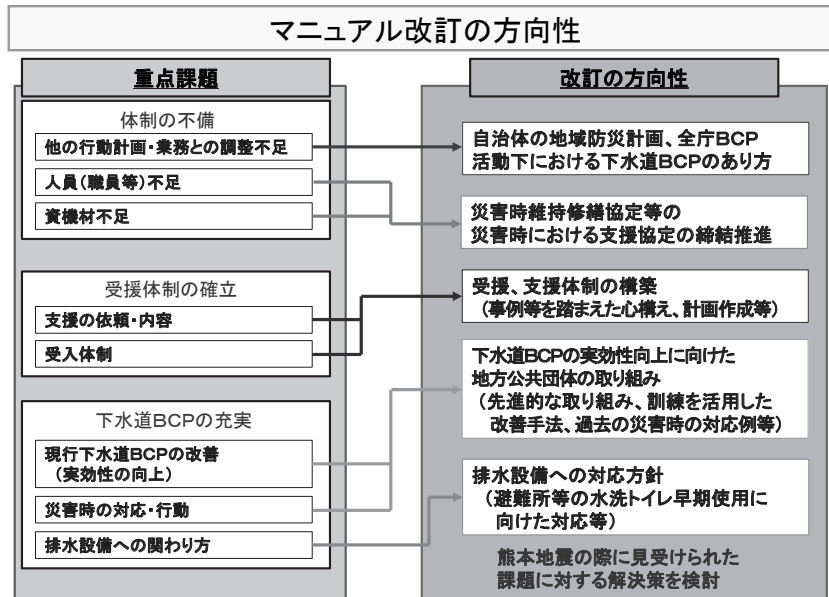


図-1 熊本地震における下水道BCPの重点課題と下水道BCP策定マニュアル改訂の方向性

【検討結果の概要】

○マニュアル改訂の方向性

当機構でとりまとめた「熊本地震における下水道BCPの有効性と課題に関する調査報告書」より、熊本地震における下水道BCPの重点課題として、①体制の不備、②受援体制の確立、③下水道BCPの充実が挙げられた。それぞれの課題を踏まえて「下水道BCP策定マニュアル（地震・津波編）-第2版-」の改訂の方向性を検討し、以下の①～⑤を改訂項目として提案した。(図-1)

- ①他の行動計画・業務との調整
- ②災害時支援協定の締結推進
- ③支援受け入れ体制の構築
- ④下水道BCPの実効性向上に向けた取り組み(訓練を活用した改善手法等)
- ⑤排水設備への対応方針の検討

○訓練事例の収集

既往のアンケート調査において“下水道BCPに基づく訓練を実施し、その結果を踏まえて下水道BCPを改善したことがある”と回答した34地方公共団体を対象に、訓練手法に関するアンケート調査及び訓練に関する資料の収集を行った。(図-2)

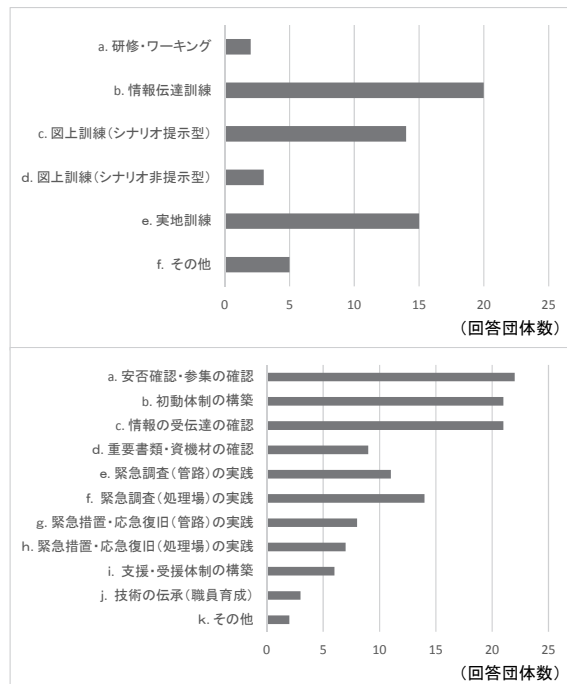


図-2 訓練手法に関するアンケート結果
 (上：訓練種類，下：訓練目的)

【特徴等】

本研究で得られた成果を基に、平成29年度に下水道BCP策定マニュアルの改訂に向けた検討委員会が設置され、国土交通省より改訂マニュアルが公表される予定である。

※ 国土交通省水管理・国土保全局下水道部の政策支援

問い合わせ先：研究第一部 内田 勉，田邊 信幸，日高 康晴【03-5228-6597】

キーワード

熊本地震，下水道BCP，下水道BCP策定マニュアル，訓練手法